

学年だより

第24号 2020年10月30日(金)

自分を大切に 仲間を大切に 豊中市立第十五中学校 42期 第1学年

★人権学習を通して・・・

16日(金)と23日(月)の2日にわたって性への考え方について学びました。大森さんが言っていた、「みんな違ってみんないい」「好きなことは好きなままでいい」「ありのままにいることを恐れないで」「理解してもらえないこともあるけれど、必ず分かってくれる人がいる」こんな素敵な言葉は他にないと思います。学年だよりにも似たような言葉が載っていますね。今回学んだことを踏まえ、互いの事を認め尊重し合えるあたたかい学年にしていきたいと思います。みんなが書いてくれたふりかえりシートを紹介します。

・私は今回のことを聞いて、もっともっといろんな人が多様性を認めるべきだと思った。性別は、2種類だけではないから、好きな服を着て、好きなオシャレをして・・・など人それぞれの個性は認め合うことが大切だと思った。

・心と体の性が違うって人って、今回実際に会うまで、あまりいるということが信じられなかったけど、実際にそういう人を見て、トイレで苦勞したよとか話してもらって、初めて現実のものなんだということが実感できた。

・一人ひとりの普通は違うので、結局みんな普通じゃないんだなと思いました。私たちは何の不便もなく生活しているけど、当たり前が当たり前じゃない人もいますので、その当たり前を疑って生きると、この世の中ももっといろんな人が生きやすい世の中になると思いました。

・多様性を受け入れる事、理解する事がとても大切で、それを願っている人がたくさんいるんだろうなと思いました。私は「性が普通とは違う」に対して〈普通〉って何だろうと思いました。虹の表現の仕方やイメージが違うことを知って私だったら赤と黒の2色の虹や8色もの虹を少ないや多いと感じるけどもっと深く考えたら、その虹を私は思いつかなかった、新しい素敵な発見だなと思うので、普通をいったんおいてみると、新しい発見につながり、もっと「自由」にすこしやすくなるのかなと思いました。この社会から、普通がなくなったら、もっと一人ひとりが自由に過ごせて素敵な社会になるかもと考えました。

・「ふつうの男の人、ふつうの女の人って何だろう」「そもそもふつうって何だろう」と何回も考えました。その答えを出すことができたかどうかわかりませんが、少なくとも大森さんのような方々の気持ちを「知る」ことができました。でも理解しようとはしているけれど、「知る」ことはできても、「感じる」ことはできないと思います。だからこそ大森さんの体験したことを話してくれたことはすごい良いことだと思います。

・あたり前のように生活している私とは違って、理解してもらえない、わからない日々を過ごしている人がもしかしたら身近にいるかもしれないということを理解しました。理解して知ったからこそ私も障がいをもった人にできることなど、その人の気持ちになって考えてみることで、気持ちを理解することなどを意識して生きていきたいと思いました。

・大事なことは多様性を認め合うこと、受け入れることだと感じた。「普通じゃない」「変わっている」と思うのではなく、「こういうこともあるのか」と受け入れ、相手の言葉などに、耳を傾けられるような人になろうと思った。カミングアウトしようと思っても、冷たいことを言われたらどうしようと悩む人もいるだろうから、カミングアウトできる環境をつくり、支えてあげたいと思う。

・人によってそれぞれ価値観が違っていて、体は女性でも男性になりたいという人もいるし、体は男性でも女性になりたいという人もいるから、自分は周りの人が重要なんじゃないかと思いました。周りの人が差別をしてしまうと自殺してしまう方が出たり周りの人が理解してみんなと同じように受け入れて接してあげれば、その人は幸せになるんじゃないかと思ったので、自分も人を支えてあげられる人になりたいと思いました。

・私は今まで心と体の性が違う人はあまりいないと思っていたけど、今日のお話を聞いて、私たちの近くにもそういう人がいるんだと少し驚きました。また、そういう人が近くにいる時その人の事をしっかり受け入れてみんなと同じように接して優しい声かけができれば、その人がつらい思いをすることもなくなるのかなと思いました。性別関係なく、みんなが仲良くするためには、一人ひとりが色々な人を理解して、受け入れようと思う事が大切だと思いました。

・日本では、性別が2種類だけでなく、1人1人に違った性があるって、でもどれもそれは1人の人間として生きていることが分かりました。だけど、日本ではその事を知らない人もいて、違った性別の人をいじめたり、人間じゃない扱いをする人もいて、僕はそういう人になりたくないし、そういう人を注意できる人になりたいです。また、違った性別の人が傷ついていたなら、優しく声をかけて「大丈夫？」と言ってあげようと思いました。

「まちがっても良い」 「あなたはあなたで良い」 「ここにいて良い」